

仁科三湖の類型指定以前の水質状況について

水大気環境課

類型指定以前（S51）以前の仁科三湖における、人為的影響が少ない状況と考えられる水質データの事例として、大正中期、昭和初期のKMnO₄（過マンガン酸カリウム消費量）のデータを下記に示す。

※ KMnO₄（過マンガン酸カリウム消費量） 単位（mg/L）

水道水あるいは水道原水の有機物指標として使用されてきた方法である。

現在の水道法の水質基準では、有機物の指標としてTOC（全有機物炭素 Total Organic Carbon）が用いられている。

■ 出典：日本北アルプスの湖沼の研究（昭和5年）

青木湖（湖心表層）	木崎湖（湖心表層）
T7.8.16	T7.8.18
3.37	2.15

	青木湖	中綱湖	
深度（m）	S2.5.16	S2.9.3	
0	2.1	2.18	5.12
12	—	1.9	1.38
58	3.38	—	—